

## 研修ニュース

〒518-0814

三重県伊賀市上友生 785 番地

Tel&Fax 0595-21-8839 E-mail [iga-ken@iga.ed.jp](mailto:iga-ken@iga.ed.jp)

## 研修講座 B-1 特別支援教育【4回連続講座】④ 「指導と評価の一体化の視点から振り返る個別の指導計画」

【講師】 三重大学教育学部 附属教職支援センター 附属学校支援室 特任教授 飯田 幸雄 先生

1月24日(火)、研修講座「特別支援教育【4回連続講座】④」を実施しました。第4回の講義では、それぞれが持ち寄った個別の指導計画をもとに2学期に行った指導・支援や手立て、評価等についてグループ交流を行い、飯田先生より改めて個別の指導計画を作成するメリット、評価基準の作成、引き継ぎについてご指導いただきました。

グループ交流では、個別の指導計画をもとに2学期に行った指導の手立てと評価について意見を出し合いました。「個別の指導計画をもとに振り返りができた」「子どもの実態をその都度捉えて、個別の指導計画を見直してきた」など2学期の取組を振り返ることができました。

飯田先生からは、個別の指導計画について「スモールステップを設定することで子どもの成長が可視化され、ほめる機会が増える」「指導・支援の内容についてフィードバックされ改善につながりやすい」といったメリットがあるという話がありました。改めて個別の指導計画を作成すること、振り返ることの大切さを学ぶことができました。また、評価基準を作成するためのフォーマット（一定の形式）についてもご指導いただきました。

### 評価基準作成のためのフォーマット（一定の形式）

「〇〇（学習活動や学習対象）について、□□（主要な資質・能力）しながら、△△（子どもの行為や姿）している」

（例文）

「〇〇川の環境問題について、グラフ・地図・写真を組み合わせながら、ポスターにまとめている」

上記のように評価基準を作成する際には、三つの要素を組み合わせながら作るとよいことが分かりました。最後に本講座を含め4回にわたり受講いただきました特別支援教育コーディネーターの先生方へお願いです。本講座で学んだことを各校で還流いただきますようよろしくお願いいたします。

### アンケートより 【一部抜粋】

・グループ交流を設定していただいていたので、初めて担当する私にとっては、情報をやり取りしたり、分からないことを尋ねたりできるありがたい機会になりました。指導計画・支援計画の作成にあたって、より具体的に記入し、学期毎に見直すことなど大切なことを学びました。また、その子に合った適切な支援を考えていくこと、引き継ぐ時の大切な資料になることもよく分かりました。（小）

・なかなか子どもが軌道に乗らない時、「前はできていたのに・・・」と思いがちですが、それでは前に進まないと思いました。飯田先生から「細かいステップの設定が大切である。」というアドバイスをいただき、そうすることで子どもをほめる機会を増やすことができると感じました。（中）